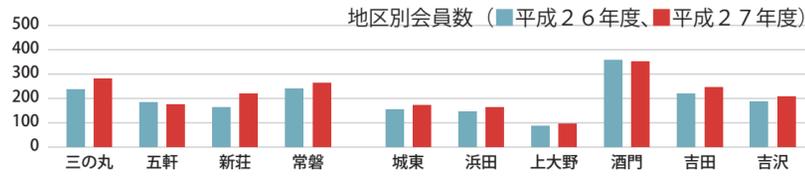


笑顔があるところに仲間が集う



常総市水害見舞い

緑岡地区女性委員会 (代表 田邊敦子)

常総市の皆さんは、大変な苦勞をされていると伺っております。連絡をとりたくても現地のシルバークラブ連絡協議会は「手が回らない」状態 (11/10 現在)。そこで、常総市の児童館、児童センターの子どもたちのために、おもちゃ (写真のペットボトルのガラガラ) を作り、お届けすることにしました。品物は、緑岡女性委員 (15名) が材料を持ち込み、心を込めて手づくりした「ペットボトルのガラガラ」100個です。一日も早い復興を心からご祈念申し上げます。



全国老人クラブ連合会表彰 三部門で活動賞受賞



水戸市高齢者クラブ連合会が、平成27年度「100万人会員増強運動特別賞」を受賞しました。受賞団体は全国で114団体。その中で都市部の区、市老人クラブ連合会の受賞者は水戸市を入れて19団体です。会員数は、前年度を588人 (9・9%) 上回る6523人 (1255クラブ) (上記に地区別会員数の増加状況を示す)。単位クラブの会長始め会員一同が危機感を持ち、勧誘普及活動に力を入れていただいた結果と役員一同深く感謝しております。会員の皆さんありがとうございました。

水戸市高齢者クラブ連合会が、平成27年度「100万人会員増強運動特別賞」を受賞しました。受賞団体は全国で114団体。その中で都市部の区、市老人クラブ連合会の受賞者は水戸市を入れて19団体です。会員数は、前年度を588人 (9・9%) 上回る6523人 (1255クラブ) (上記に地区別会員数の増加状況を示す)。単位クラブの会長始め会員一同が危機感を持ち、勧誘普及活動に力を入れていただいた結果と役員一同深く感謝しております。会員の皆さんありがとうございました。

浜田地区高連の活動

浜田地区高連 (会長 郡司 茂)

浜田竹クラブでは「安全見守り・お元氣隊」を立ち上げ、「会員増強運動」に取組み中。役員は2名、会員は1名以上を目標に勧誘している。現在96名。地区会の広報紙に高齢者クラブの活動や会員増強運動を掲載し、全戸配布している。また、社協浜田支部、浜田女性会、地区民生委員に働きかけ20名増強できた。サークル活動として、①舞踊クラブ：2回/月。②グラウンド・ゴルフクラブ：5回/月、毎回25人以上が参加し、市高連スポーツ大会や東部ブロックスポーツ大会でも優秀な成績を残している。市の福祉バスを利用した研修旅行も常に大盛況で、大勢の会員が楽しみにしている。浜田小の課外事業としてゲートボール指導 (指導員5名) も継続実施。浜田小はゲートボール全国大会への出場実績がある。



手づくり「そば会」

河和田シニアクラブ (会長 大内次男)



一昨年発足したクラブである。発足と同時に実施した「そば会」が好評につき昨年も実施。常陸秋そばの産地、旧水府村でそば粉5kgを購入。女性会員による「けんちん汁」の下ごしらえも終え、準備万端。10月16日の当日は、朝9時から腕自慢の会員と地区内のそば打ち名人も参加してそばを打ち上げ、女性会員手作りの具沢山の「けんちん汁」も出来上がり、会員が持ち寄った海老天やお惣菜も加え、ごちそうが整った。当日は会員、地区内の高齢者に加えて、高橋水戸市長、桜川市民センター長にもご同席願った。市長からはマイナンバー制度のお話や管理の仕方などについてご説明をいただいた。皆さんからはそばが上手に打ち上がり、けんちん汁もおいしいとお褒めの言葉をいただき、世話人一同面目を施した。和気あいのうちに楽しい1日が終わった。

わたしたちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--	--	--

わたしたちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--	--	--

仲間づくり部門活動賞

千波むつみ会 (会長 岩本多實)

活動活性化のために、会員同士の親睦に力を入れた活動を行っている。会報の発行、会員が希望する行事の開催など活動参加者を増やす努力もしている。平成26年からはサロンを開設。会員だけでなく地域の高齢者にも呼びかけた「動くサロン」である。買い物難民予備軍である会員や近隣高齢者の一助となる「買い物ツアー」を借り上バスで実施。昼食時などは会話ははずみ親睦も深まる。また、健康増進のための「日帰り」「泊旅行」を実施した。会員全員で取り組むことで、地域の高齢者への支援になり、21名の新規会員加入にもつながった。



健康づくり部門活動賞

三の丸地区高連 (会長 岡田 浩)

8単位クラブで地区高連を構成。健康づくり、ボランティア活動に特に力を入れている。地区高連で主催するスポーツ大会は平成8年から実に18年にわたり年2回 (春、秋) 実施。昨年の参加者の最高年齢は100歳である。小学校児童へのスポーツ指導、むかし遊び、手づくりおもちゃの伝承活動にも力を注ぎ、地域活性化に貢献している。こうした活動の継続は、活動力の弱まった単位クラブの解散防止にも役立っている。



ボランティア活動部門活動賞

小吹長寿会 (会長 秋葉 充)



当会の広報紙「小吹長寿会だより」は会の行事の周知のみならず、地域の隠れたあるいは忘れられた名跡や歴史を掘り起こし、その魅力を再認識してもらったり、高齢者の知恵の伝承などに力を入れた地元愛にあふれたユニークな構成となっている。

また、福祉施設への慰問活動 (毎月) の他、清掃活動、地域見守り活動、ひとり暮らし高齢者とのふれあい昼食会を継続実施している。地域に貢献することは、会員加入という目先の目標よりも、将来的に次世代が高齢者クラブの活動を継承しようという展望が期待できると考えている。

こんな広報紙を 発行しています (5)

錦ことぶき会 会長 高畑 健兒

会報名称 錦ことぶき

発行責任者 会長 高畑 健兒

発行の動機 単位クラブの会員に対し、近況と行事予定の周知。

発行頻度 年度当初と中間時点で随時発行。頻度は年2〜3回程度。

会報のサイズ 基本的にはA4版1枚程度にまとめる。写真を多くし、会員が見て確認できるように工夫している。

配布先 現在は会員と一部の関係者のみ (関係町内会に配布した時期もありましたが、反響がありませんでした)

今後の課題 会員増強のため、地域の高齢者へ加入を勧めているが思うように進んでいない。行政からも積極的に加入を勧める活動をお願いしたい。また、高齢者と関係が深い地域の民生委員にも加入周知をお願いしている。

